

議会

129
12月定例議会号

だより

令和4年 2月
発行 佐呂間町議会



TOPIC

佐呂間中学校3年生が町議会を傍聴

特集「中学生の見る議会」

町政について議員が問う

一般質問「令和4年度一般会計及び特別会計の予算編成概要について」など

〈若佐小学校スケートリンク開き〉

氷の感触を確かめながら、スケート少年団の今季初練習。今シーズンの記録に期待！

(令和4年1月8日撮影)



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第4回定例会

・審議した議案②

第4回定例会

第4回定例会が12月15日から16日の間で開催され、議案10件、意見書2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

・審議した議案①

高齢者等石油製品価格高騰対策（福祉灯油）に480万円 子育て世帯への臨時特別給付金（1回目）に2810万円を補正

審議した議案

予算

<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度一般会計補正予算（第7号） 3389万円が追加され、予算の総額が60億6906万円になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代農業促進生産基盤整備特別対策事業補助金 548万円 財政調整基金繰入金 ▲2億2063万円 備荒基金超過納付金繰入金 ▲3019万円 前年度繰越金 1億9664万円
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度介護サービス事業特別会計繰入金 ▲1182万円 後期高齢者医療特別会計繰入金 ▲306万円 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 25万円が追加され、予算の総額が8億3327万円になりました。
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号） 171万円が追加され、予算の総額が2億9516万円になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 627万円が減額され、予算の総額が9151万円になりました。
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 321万円が追加され、予算の総額が5億3379万円になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 156万円が追加され、予算の総額が2億288万円になりました。
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 321万円が追加され、予算の総額が5億3379万円になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 156万円が追加され、予算の総額が2億288万円になりました。

議案質疑の中から

◎高齢者等石油製品価格高騰対策扶助費（福祉灯油）

【質問】福祉灯油の給付について、所得制限はないのか。

【答弁】対象となる世帯は、生活保護世帯及び町民税非課税世帯としています。

◎子育て世帯への臨時特別給付金

【質問】本給付金については、収入認定はされないのか。

【答弁】昨日の政府の見解では、一括10万円を年内に給付するのでも可能であるとか、クーポンではなく現金でも良いとか、960万円の所得制限を超えていても給付して良いと、ただし、その分については各自治体の負担となると

【質問】3回目の新型コロナウイルスワクチン接種について、今までと同様に、クリニックさろまにて実施するのか。

【答弁】クリニックさろまに要請したいと考えており、実施方法を整理した上で、近日中に年内最終打ち合わせをする予定です。

冬期間の接種となり、体制的には本年5月以降に実施した集団接種という形が妥当であると考えていますが、個別接種等も含め、病院側と調整している段階です。



【質問】新型コロナウイルスの陰性証明が必要な場合、自己負担でPCR検査は受けられるが高額なため、抗原検査など簡易的な検査をクリニックさろまにて実施できないか。

【答弁】PCR検査は1検体2万7500円の費用がかかり、抗体検査は5500円で実施していますが、抗原検査については実施していません。

その他

■新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更

浜佐呂間漁港の施設用地造成を目的とした公有水面埋立工事の竣工に伴い、次のとおり新たに生じた土地の確認及び北海道知事への届出をし、字の区域が変更されました。

①字の名称 字浜佐呂間

②変更する字の区域

- 編入する公有水面埋立地 浜佐呂間860番地、浜佐呂間861番地先の公有水面埋立地
- 編入面積 98・36㎡

条例

■重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部改正

令和4年1月1日からの産科医療保障制度の見直しに伴い、当該制度の掛け金が1万6千円から1万2千円に引き下げられますが、出産育児一時金の支給総額については、現行の42万円を維持することとなっていることから、4千円引き下がった分を一時金支給額に上乗せするため、条例の改正をするものです。



第4回定例会

第4回定例会

・町長行政報告

・審議した議案③

町長行政報告(要旨)

■ ルートイングランティア サロマ湖
 去る11月30日、道内ルートインホテルの運営等を担っている建設コンサルタント会社の社長が来庁し、現在休業中のルートイングランティアサロマ湖の、その後の経過について説明を受け、再開については最重要課題として捉えており、コロナ感染が落ち着いたら折りに、一番に協議を行うべき案件であるということでしたが、現況として具体的な協議の進展はありません。

また、ルートイン本社の経営幹部には、本町からのホテル再開の要請について改めて伝えるということであり、今後の動向を注視しながら展開を見守っていきます。

■ 農業の状況
 農産物全体の販売額は、農協の販売計画に対し9%増の16億5千万円程度となる見込みです。

畜産関係では、平均乳価は新型コロナウイルスの影響で昨年を下回りましたが、生乳生産では当初の目標を超える、5万

1123トンの見込みです。しかし、全国的な増産と生乳需要の大幅な減少により、乳製品の在庫は過去最高水準となり、厳しい状況です。

個体販売については、生産主力である2歳から4歳の雌牛頭数が大幅に増加し、例年の府県での暑熱ダメージによる更新需要も冷夏により低下したことから、初妊牛の相場が下落し、初生トクについても低調な状況が続いています。

酪農畜産全体では、76億2千万円程度となる見込みで、農業販売額全体では、当初計画に対し2.9%下回る92億7千万円程度となる見込みです。

■ 漁業の状況
 当初計画9千トンで始まった外海ホタテ漁業については、最長12月20日までの操業予定で、最終的には計画を超える9900トン程度の水揚げを見込み、販売金額は海外での景気回復や高歩留まりにより、平均単価が180円になるなど順調に推移していますが、新型コロナウイルスの新たな変異株発生に伴う水際対策の強化により、外国人の入国が停止され、技能実習生の確保も困難となる中、労働力不足がいつまで続くのか

先が見通せない状況です。

養殖ホタテ漁業は、生産計画数量1700トンに対し、1610トン程度の見込みで、キロ単価は350円程度となる見込みです。

さけ定置網漁業は、11月25日に終了し、漁獲量は734トンで、対前年比68%増となり、単価が14%程度上昇したことにより、漁獲額は5億3100万円と、対前年比83%増の水揚げ額となりました。

このような状況の中、佐呂間漁協の総水揚げ額は、対前年比28%増の32億円が見込まれています。

■ 林業の状況
 町有林については、造林事業・下刈事業など64ヶ箇所が完了し、現在、素材生産事業1箇所、除間伐事業3箇所を実施しており、国の補助制度を活用しながら、継続的な森林資源の保全に努めています。

また、民有林についても森林組合が補助制度を活用しながら、造林事業・下刈事業など450箇所を実施する見込みで、民有林の適切な保護育成が進められています。

■ 商工業の状況
 プレミアム付全町共通商品券発行事業では、秋の販売が11月末現在で1万349セット、1億5523万5千円分が販売されています。

商工業活性化事業は8件、住宅建設促進事業は増改築25件、トヨタタイヤ販売促進事業は、第2四半期までで180本分の助成を行っています。

新型コロナウイルスの影響を受ける宿泊事業者への支援対策である、宿泊業活性化補助金については、これまで3880名の利用で、1241万円を助成しています。

また、町内事業所における従業員の人材確保・育成対策である、大型自動車免許等取得費補助金は2名の利用です。

建設技術者養成修学資金貸付は現在1名の利用で、11月までに40万円の貸付を行っています。



佐呂間墓地内に新設された合葬墓

■ 合葬墓条例の制定
 令和4年度から供用開始となる、新設した合葬墓の設置及び管理に関する条例を制定するもので、使用資格や使用料等に関して規定しています。

議案質疑の中から

◎ 合葬墓条例の制定

【質問】墓じまいをして合葬墓を使用したい申請者が、例えば施設に入所しているお年寄りや、手続きや納骨に立ち会うことができない場合や、遠方に住んでいる場合、第三者(石材店、知り合い等)が代理人として手続きや納骨をすることが可能であるか。

【答弁】申請に必要な書類で、申請者の戸籍謄本や住民票等の内容で、納骨されるお骨との関係や親族に関する内容、使用資格があるかなどを事前確認させていただく事となり、例えば第三者でも、申請者から託された必要書類を提出したり、親族の同意や承諾書を得られているなど、代理人として手続きすることは可能であると思いますが、そういった場合は、事前に担当者に相談していただいた上で、申請者の意向に沿った良い形で取り進めていきたいと思えます。

意見書



■ 燃油等の価格高騰対策
 国の農業予算や運用変更に関する意見書

新型コロナウイルスの感染拡大で、石油産出国において供給量が増産されず、需給バランスも崩れ、燃油価格が高騰する中、農業機械、農業施設の燃料や農業資材等も価格上昇を続け、コロナ禍の需要減で農産物価格が低迷しており、生産者の農業経営を圧迫しています。

また、新規就農者育成総合対策事業についても、これまでの全額国費負担から地方負担が課せられることとなった場合には、自治体間の格差により十分な支援が受けられない就農者も発生する恐れがあることから、農業の持続的発展を図るため、燃油等の価格高騰対策と新規就農者育成総合対策事業の全額国費負担を強く求める意見書を可決し、関係大臣宛に提出しました。

■ 地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書
 北海道内においては、サケ、サンマ等が減少し、地球温暖化、海水温上昇の原因究明が急務となっており、このままでは漁業従事者のみならず、水産加工業者も含め地域経済に大きなダメージを与え、地域の衰退を招きかねません。

また、新型コロナウイルス感染症対策による飲食店での消費減退に伴う魚価安が、水産業者の不安を増殖させ、さらに、今年9月以降の赤潮によりウニ、秋鮭、ぶり、ツブ、シシャモ等に被害が及び、大きな経済的損失を被っている状況です。

よって、これらの水産漁業被害の実態調査や被害対策の策定、影響のあった地域への経済支援といった全6項目の措置を強く求める意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

第4回定例会

・特集 中学生の見る議会②



岡松 悠さん
みんなが持っている町への思い

今回の傍聴で、議員の方々が町民のために、そして町をより良くしようと努力していることを知り、自分も誰かのために努力することができる人間になろうと思いました。

橘 心春さん
町民の暮らしを守るための話し合い

私は、今回の議会傍聴で、町長や教育長をはじめ、議員の皆さんが少しでも町を良くしようと取り組まれているのだと改めて感じることができました。それは、佐呂間町の魅力をもっと伝えようと、地域おこし協力隊の活動を始めることや、町内での安全対策、自転車に乗る時の安全装備についてなど、町民の暮らしを守るための話し合いが行われていたからです。今回の議会傍聴を通して、学んだことを将来に活かし、私も佐呂間町の良さを沢山の人に伝えられるように頑張ろうと思います。

岡松 悠さん
みんなが持っている町への思い

今回の傍聴で、議員の方々が町民のために、そして町をより良くしようと努力していることを知り、自分も誰かのために努力することができる人間になろうと思いました。

橘 心春さん
町民の暮らしを守るための話し合い

私は、今回の議会傍聴で、町長や教育長が具体的な理由を述べて回答していたので、このやり取りが町を良くするための秘訣だと思いました。今回の議会傍聴を通して、町をもっと良くするための取り組みの提案や、今後の課題について考えている町長や議員の皆さんの思いが伝わり、自分自身も町のために何かしたいと改めて思いました。

教育を通して心豊かな人を育成する

佐藤 巧実さん

今回の議会傍聴を通して印象に残ったことがあります。それは、町に必要な人材の育成についてです。

僕は「必要のない人材はいない」という町長の言葉に感動しました。町民のことを思う気持ちが強いのだなと思いました。また、子ども達が未来を切り開くための教育をするということに興味を持ちました。教育をする側・受ける側が協力し合って学んでいくことが大切だと思います。

今回の傍聴で、議員の方々が町民のために、そして町をより良くしようと努力していることを知り、自分も誰かのために努力することができる人間になろうと思いました。

特集 中学生の見る議会

より多くの人に町をPRする取り組み

大橋 駿一さん

僕は、議会傍聴で町をより良くするために行われている取り組みについて学ぶことができました。

町の予算にも、「サロマ・夢色・魅力・わくわく予算」という名前が付けられていて、サロマの事をより多くの人に知ってもらえるようになるのではと思いました。

また、サロマ湖展望台の大規模改修や観光サイトの作成、地域おこし協力隊の採用など、サロマをPRする活動に力を入れていることも知り、サロマに興味を持つ人がもっと増えれば良いと思いました。

他にも、議会の中では通学路の安全対策や、自転車に乗る時のヘルメットの着用など、僕たちに身近な問題についても話し合われ、議会の大切さを学ぶことができました。



佐呂間中学校3年生が「総合的な学習の時間」の一環として、12月15日に行われた町議会第4回定例会の一般質問を傍聴しました。本来であれば、生徒たちは議場内の傍聴席から、議員と町長の真剣なやり取りをその場で体験できましたが、昨年度に引き続き、今回も新型コロナウイルス感染症対策として議場での傍聴は行わず、学校の多目的ホールにて、議場で撮影している動画をインターネットを通じて、リアルタイムで視聴する方法で行われました。ここでは、生徒たちの感想文の一部をご紹介します。(紙面の都合上、文章内容の一部を要約しています。)

第4回定例会

・一般質問②

【質問】 登下校中の児童生徒が交通事故の被害に遭うという報道が増え、町の通学路にもそのような危険箇所があるのではないかと不安を感じていることから、町で危険な通学路と捉えている箇所があるのか伺います。

【答弁】(教育長) 本年3月に、通学路交通安全プログラムを策定し、浜佐呂間小学校の入口付近の下りカーブ、若佐小学校近くの信号機未設置の国道横断歩道と、2箇所対策箇所を示し、それぞれ各種安全対策を講じており、学校では、児童生徒個々の通学路の把握とその安全確認など、日頃から交通安全の啓発、指導を行っています。地域の皆さんには、子ども

の姿を見かけたら、「気を付けてね」など、お声掛け頂きたいと思えます。

【質問】 スクールゾーンと設定している通学路及び、それらの安全対策の現況、そして今後の整備及び安全策に対してどのような考えなのか伺います。

【答弁】(教育長) 一般的にスクールゾーンとは、子ども達を利用する通学路や生活道路が、交通安全対策の重点地域である交通規制を伴う道路です。町では、昭和47年に設定したモデルスクールゾーンがありますが、特に交通規制は設けていません。そのため運転者への注意喚起として、47箇所のスクールゾーン標識や、

手旗横断旗の設置等をしており、特定の期間には、関係者による登下校時の街頭啓発や巡回を行っています。

【質問】 児童生徒が安心して通学できる環境は、町全体がその役割の一部を担う認識を持って頂くことが理想であり、今後町民の皆さんへのご協力依頼と、周知についてもしっかりと取り組みます。

【質問】 中学・高校生の自転車通学時のヘルメット着用に対してどのような考えか伺います。

【答弁】(教育長) 各小学校では着用を義務化してはいますが、中学校にはありません。北海道自転車条例では、自転車小売業者は自転車乗車時のヘルメット着用を推奨することになっており、町としては自転車利用者全員の安全対

町の機関、多くの事業所、業種において人材が不足しており、一部の業種では、就業者確保のための助成や奨学金の事業なども行っています。

【答弁】(町長) 町の職業において、将来の採用を前提とするような人材育成に限定することは難しいと思いますが、出身者が一人でも多く、町の職業に就いて頂ける人材確保のための各種事業など、今後も検討します。

第4回定例会

・一般質問①

4名の議員が一般質問を行いました。(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

一般質問



小松正義 議員

令和4年度一般会計及び特別会計の予算編成概要について

【質問】 令和4年度一般会計、特別会計の予算編成について、地方交付税の増額、減額が見通せない状況ですが、編成額の見込み概要について伺います。

【答弁】(町長)

政府は、令和4年度予算編成の基本方針を閣議決定し、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう、同水準を確保する考えの下、地方交付税については交付ベースで昨年度から0.4%増となる見込みであり、本町においても、各課にて策定作業を行っている最中です。

令和3年度の経常経費を上限としてマイナスイシューリングを目指し、事務事業の改革及び業務改善を徹底し、基本的には、第5期総合計画の前期

実施計画と第2次地方創生総合戦略に掲げる重点プロジェクトの実行に努め、将来を見据えた計画的な予算となるよう各種施策に取り組み、補助事業の積極的な活用など財源確保に努め、一般会計55億円程度、6特別会計合計で25億円程度、総計80億円程度と考えていますが、地方創生臨時交付金の配分によっては大きく変わってきます。

【質問】 町の自主財源の金額が、若干増額するのと感じていますが、どのような考え方を持っているか伺います。

【答弁】(町長)

町の財政運営をしていく中で、自主財源の確保が一番の肝腎なところになります。

令和4年度では、佐呂間漁協で計画している加工施設の建設をはじめ、農業に関わる様々な業種全般を含めた中で、それらを支えていくための施設整備も必要になってくるため、町としても国の補助事業などを積極的に活用し、将来に向けて安定した地場産業づくりを考えていきたいと思っております。

町の予算は、その年度の行政運営を行う根幹をなすもので、町民の皆さんに十分ご理解して頂けなければならぬと思っております。令和3年度予算は福祉と教育に重点を置き、令和4年度予算において、産業は以前から継続している分野なので、まちづくりの階段を1段階ステップアップし、以前から課題としていた地域おこし協力隊の採用、設置から33年が経過するサロマ湖展望台の大規模改修、今年度から2年間をかけて施策を続けている、QRコードを使った観光デジタルポータルサイト整備など、町の魅力を全国に情報発信する新たな希望が湧き上がるような事業を盛り込むとともに、継続して「JAL DE パンフキンキャンペーン」にて、日本の空の玄関をパンフキンオレンジに染め上げるという夢を持って、「サロマ・夢色・魅力・わくわく予算」と名付けます。



思いを込めて編成する来年度予算に
タイトルを付けるとすれば

町長：新たな希望が湧き上がるような年に！
「サロマ・夢色・魅力・わくわく予算」

【質問】 令和4年度の予算事業の編成上において、思いを込めた予算にタイトルを付けるとするならばどのような予算計画とするか伺います。

【答弁】(町長)

町の予算は、その年度の行政運営を行う根幹をなすもので、町民の皆さんに十分ご理解して頂けなければならぬと思っております。令和3年度予算は福祉と教育に重点を置き、令和4年度予算において、産業は以前から継続している分野なので、まちづくりの階段を1段階ステップアップし、以前から課題としていた地域おこし協力隊の採用、設置から33年が経過するサロマ湖展望台の大規模改修、今年度から2年間をかけて施策を続けている、QRコードを使った観光デジタルポータルサイト整備など、町の魅力を全国に情報発信する新たな希望が湧き上がるような事業を盛り込むとともに、継続して「JAL DE パンフキンキャンペーン」にて、日本の空の玄関をパンフキンオレンジに染め上げるという夢を持って、「サロマ・夢色・魅力・わくわく予算」と名付けます。



高橋紀久 議員

通学路等の安全対策について

【質問】 登下校中の児童生徒が交通事故の被害に遭うという報道が増え、町の通学路にもそのような危険箇所があるのではないかと不安を感じていることから、町で危険な通学路と捉えている箇所があるのか伺います。

【答弁】(教育長)

本年3月に、通学路交通安全プログラムを策定し、浜佐呂間小学校の入口付近の下りカーブ、若佐小学校近くの信号機未設置の国道横断歩道と、2箇所対策箇所を示し、それぞれ各種安全対策を講じており、学校では、児童生徒個々の通学路の把握とその安全確認など、日頃から交通安全の啓発、指導を行っています。地域の皆さんには、子ども

の姿を見かけたら、「気を付けてね」など、お声掛け頂きたいと思えます。

【質問】 スクールゾーンと設定している通学路及び、それらの安全対策の現況、そして今後の整備及び安全策に対してどのような考えなのか伺います。

【答弁】(教育長)

一般的にスクールゾーンとは、子ども達を利用する通学路や生活道路が、交通安全対策の重点地域である交通規制を伴う道路です。町では、昭和47年に設定したモデルスクールゾーンがありますが、特に交通規制は設けていません。そのため運転者への注意喚起として、47箇所のスクールゾーン標識や、

手旗横断旗の設置等をしており、特定の期間には、関係者による登下校時の街頭啓発や巡回を行っています。

【質問】 児童生徒が安心して通学できる環境は、町全体がその役割の一部を担う認識を持って頂くことが理想であり、今後町民の皆さんへのご協力依頼と、周知についてもしっかりと取り組みます。

【質問】 中学・高校生の自転車通学時のヘルメット着用に対してどのような考えか伺います。

【答弁】(教育長) 各小学校では着用を義務化してはいますが、中学校にはありません。北海道自転車条例では、自転車小売業者は自転車乗車時のヘルメット着用を推奨することになっており、町としては自転車利用者全員の安全対

町の機関、多くの事業所、業種において人材が不足しており、一部の業種では、就業者確保のための助成や奨学金の事業なども行っています。

【答弁】(町長) 町の職業において、将来の採用を前提とするような人材育成に限定することは難しいと思いますが、出身者が一人でも多く、町の職業に就いて頂ける人材確保のための各種事業など、今後も検討します。

登下校中の児童生徒には危険がいっぱい
町が考える今後の安全対策とは
教育長：既に様々な対策は講じている
地域住民の声掛けや見守りが大切

町に必要な
人材の育成について

第4回定例会

・一般質問④

【答弁】(町長)
令和4年度からの開設に向けて事務を進めているところですが課題もあり、各関係機関と連携を図りながら、妊娠前から子育て期の支援を行っています。更に各分野との連携を強化して、切れ目のない支援体制を整える必要があると考えているように思います。

【質問】
妊娠期から子育て期にわたる、切れ目のない支援を提供できることを目的とする子育て世代包括支援センターについて、本町では未だ設置されておらず、当センター設置は、市町村においては努力義務のようですが、町の設置計画について伺います。

【答弁】(町長)
児童という年齢の規定は、児童福祉法で18歳未満となっております。当然将来的には考えていかなければならないですが、現状としては出産期からの乳幼児期の基本的な部分を大切に準備を進めていきたいと思っております。



【質問】
これまでの除雪に関する一般質問や委員会での質問への答弁では、「福祉路線除雪サービス」の条件を満たさない方への対応は、各自自治体や社会福祉協議会への相談から、各自治会へのたすけあいチームや、シルバー人材センター(有料)によって支援する体制ができていると感じています。福祉路線の基準については、当面広げることはできない」というものでした。

高齢化が益々進む中、安心して暮らすことのできる町を目指すために「除雪」は課題の一つと考えます。公道から50m、100mという基準の在り方が良いのか、「その他町長が認めた場合」の一項目を加え



高齡化が進む本町にとって冬期間の除雪支援を必要とされる方がいることは承知していますが、これまで以上に基準を緩和して路線の認定が増えると、優先する路線の早期除雪に支障を来すことになりまますので、現状のまま行っていきたいと思っております。

なお、必要な人に対するこれからの除雪の在り方については、従前どおり自治会単位のたすけあいチームによる対応を基本とし、町と社会福祉協議会が連携を取って進めていきたいと思っております。

また、「町長が認めた場合」を優先して考えると、全ての事を行わなければならない、サービスというものの公平性が取れなくなってくると思っておりますので、そこはきちんとわきまえて、全ての事に対応していきたいと思っております。

第4回定例会

・一般質問③



三田真美 議員

ワクチン接種証明書の発行について

【質問】
北海道では、国外への出入国をする方が必要がある場合は、ワクチン接種済み証明書を「ワクチンパスポート」として発行し、それを各市町村から交付することとしており、それ以外で証明書が必要な方は、接種済証か接種記録書を使用することになっております。

現在は、感染者が減少して旅行者も増えており、ワクチン接種証明が簡単に確認できるアプリなどの活用で、飲食店での特典を受けられます。本町では、それらの利用特典が受けられるようなカードの発行、またはQRコードなどを活用し、利便性を図るなど、今後考えていくのか伺います。

町長：国の接種記録システム運用開始
各種用途に合った証明書を提供する

多目的に利用されるワクチン接種証明
利便性の高い接種証明書の発行が可能か

【答弁】(町長)
ワクチン接種証明書の発行については、国のワクチン接種記録システムによる海外渡航用の接種証明書と、町が発行する予防接種済証の2種類があります。

個人が、旅行や飲食店利用時の特典などを受けられる証明書については、一般的な国内での証明用としては、ワクチン接種券と一体型で町長が証明しているもので通用しますし、個別の申出に基づき、現在はA4サイズの接種済証を交付しております。

また、国のワクチン接種記録システムによる接種証明書は、本年12月20日から、海外渡航用のほか、日本国内用がデジタル化した接種証明書と

学校給食の給食日より等の活用について

【質問】
学校給食は、栄養バランスや地産地消を生かした食事であり、それを家庭でも取り入れてもらうため、本町の給食だよりも献立が細かく書かれていたり、様々な情報を家庭に発信しており、大変努力されています。

紙で配ることも必要だと思いますが、小中学生の父兄は世代も若く、学校からの様々な連絡もスマートフォンで行われているため、ペーパーレスではなく、少しずつデジタル



また、学校給食のレシピ提供については、通常業務内での追加作業となりますので、学校栄養士と相談しながら、ホームページ等での情報掲載が可能かどうかも含め、できる限りの有用な情報発信を行えるよう、業務の効率化を踏まえ進めたいと思っております。

ルに移行することで、家庭でも栄養バランスに考慮した作ったことのないレシピに挑戦するなど、家庭での子ども達との食事に役立てられると思うので、今後のデジタル化への対応について伺います。

議会ニュース

・総務福祉常任委員会現地調査



実情に合わせ小型化し、適切な運行管理を徹底

ふれあいバス

総務福祉常任委員会では、町内5カ所の施設等を現地調査しました。
平成22年から運行開始されたふれあいバスの老朽化が進んでいるため、計画的に順次車両を更新することとしており、今年度は知来・仁倉線を走る車両を更新しました。開始当時に比べて乗車人数も減っているため、コンパクトな造りであるマイクロバスに入替え、市民の移動手段として安全運行されています。



古川医師の説明を受け、高度な医療技術に驚き

若佐歯科診療所

新たに導入された、口腔内スキャナーと歯科技工設計、製造ユニットを視察しました。このスキャナーでの3D画像により、従来のような型取りをせず、歯科技工設計、製造ユニットにより、今まで歯科技工士に外注し日数を要していたものが、診療所内で作成できるため、治療日数が大幅に短縮されています。国内でも導入台数の少ないこの最新機器が有効活用され、今後の安定した運営が期待されます。



玄関付近を全面改修した若佐コミセン

若佐コミュニティセンター

平成元年の建設から31年が経過し、玄関タイルの老朽化が著しいため、スロープの拡幅を含めた玄関付近の改修を行いました。
玄関タイルを全面ゴムチップに張り替えたことで、雨の日や冬の雪滑りによる転倒防止が図られます。

佐呂間市街街路灯

令和3年度から3ヶ年計画で、道道沿いの街路灯をLED照明に取り替える工事が始



「さろま」の芝桜斜面の下に建てられた墓石

佐呂間墓地（合葬墓）

昨年11月に建立した合葬墓は、少子高齢化や核家族化などの時代背景を受け、納骨方法の選択肢の一つとして設置され、一つのお墓に宗教宗派や血縁等にこだわらず、複数の方のお骨を納める合葬式のお墓で、供用開始は令和4年5月からとなっています。



佐呂間神社前の街路灯

総務福祉常任委員会現地調査（令和3年12月2日）

処理が困難な大量の家畜排せつ物を 水分率の少ない高品質な堆肥へ急速処理

予算

■令和3年度一般会計補正予算（第6号）
6億4453万円が追加され、予算の総額が6億3517万円になりました。

【主な歳入】

・畜産・酪農収益力強化整備等対策事業費補助金
6億4385万円

【主な歳出】

・畜産・酪農収益力強化整備等対策事業費補助金
6億4385万円

■令和3年度簡易水道特別会計補正予算（第2号）
501万円が追加され、予算の総額が3億9828万円になりました。

【主な歳入】

・前年度繰越金
501万円

【主な歳出】

・富武土給水区配水管実施設計業務委託料
310万円



「畜産・酪農収益力強化整備等対策事業費補助金」

国の補助事業で、規模拡大等に伴う家畜の増頭により発生する家畜排せつ物を、堆肥コーザーである耕種農家が扱いやすい堆肥の高品質化や広域流通の推進を図るほか、畜産経営から発生する悪臭防止などの畜産環境対策を推進することで、畜産物の生産拡大を後押しすることを目的とするものです。

今回は、株式会社トップファームが、本事業の「畜産・土づくり堆肥生産流通体制支援事業」に取り組みこととなり、事業承認されたため、予算補正が行われました。



町長行政報告（要旨）

■新型コロナウイルスワクチン接種状況

10月29日をもって、接種を希望された方全員のワクチン接種が終了しました。
接種率については、65歳以上高齢者2005人中、1回目の接種率が91・7%、2回目の接種率が90・6%、64歳以下の方への接種は、2594人中、1回目の接種率が86・6%、2回目の接種率が85・9%となっており、全体では、4599人中、1回目の接種率が88・8%、2回目の接種率が88・0%となっています。

なお、心配される接種後の副反応については、発熱、接種部位の痛み等の報告は受けていますが、重篤となるアナフィラキシー症状等は発生していません。

■観光誘客促進道民割引事業「新しい旅のスタイル」の再開

北海道が独自に行っていた本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、5月18日

より中断されていましたが、緊急事態宣言の解除を受け、10月15日より再開しており、期間は11月15日までの1か月間となっています。

これに併せて「町宿泊業活性化事業」についても、補助対象者を観光目的の宿泊者に限定するなど、道が行う支援事業と同じ条件で再開しています。

■サロマ湖畔ユースホステルの営業中止と譲渡

昭和54年から浜佐呂間において営業を続けていたが、旅行形態の変化などにより宿泊者数が減少し、経営母体である日本ユースホステル協会において、10月末をもって営業を中止することが決定されました。

この後、11月中には建物を鶴雅観光グループに売却予定であり、以後の利用計画等が示された後には、内容を精査のうえ土地貸付等の可否について判断していくこととなります。

今後、施設や用地の有効な利活用が図られ、地域観光産業に寄与されることに期待しています。

まり、今年度は佐呂間市街地のセイコーマートから今野新聞店までの区間（32基）が整備されました。

議会ニュース

・議会の活動状況

- 12月2日(木)
 - ◎ 総務福祉常任委員会及び現地調査(※詳細は13ページ)
 - ◎ 産業文教常任委員会及び現地調査(※詳細は12ページ)
- 12月3日(金)
 - ◎ 第5回遠軽地区広域組合議会定例会(遠軽町)
- 12月14日(火)
 - ◎ 議会運営委員会

令和3年12月

- 11月6日(土)
 - ◎ オホーツク圏活性化期成会管内選出議員への要望会及び意見交換会(北見市)
- 11月8日(月)
 - ◎ 第6回全員協議会

令和3年11月

令和3年11月～令和4年1月

- 12月15日(水)
 - ◎ 町議会第4回定例会
 - ◎ 産業文教常任委員会
- 12月16日(木)
 - ◎ 議会運営委員会
 - ◎ 町議会第4回定例会
 - ◎ 議会広報特別委員会

令和4年1月

- 1月19日(水)
 - ◎ 第1回全員協議会
 - ◎ 議会運営委員会
 - ◎ 町議会第1回臨時会
 - ◎ 議会活性化特別委員会
 - ◎ 議会広報特別委員会



第1回定例会は3月に開催されます!

日程の詳細は、町広報3月号の折込みチラシをご覧ください。
 傍聴を希望される方はマスクの着用など感染症予防対策にご協力願います。



議会ニュース

・産業文教常任委員会現地調査

産業文教常任委員会現地調査(令和3年12月3日)

産業文教常任委員会では、町内4カ所の施設等を現地調査しました。

夕陽が丘道路



尾崎整骨院側から見た夕陽が丘道路

昭和50年代に舗装された夕陽が丘道路(延長329m)は、経年劣化と凍害による凍上などの影響で、路盤の凹凸が酷く、路面が激しく傷んでいたことから、令和2年度より2ヶ年計画で改良舗装工事が行われ、車両走行に支障のない道路になりました。

佐呂間30号道路



4年間の工事が完了した佐呂間30号道路

佐呂間30号道路のうち、セイコーマートから西富公営住宅の奥に至るまでの車道並びに歩道において、凍害による凍上などの影響で、路面に亀裂が入るなど、激しく傷んでいたことから、平成30年度より4ヶ年計画で改良舗装工事が行われ、車両にも歩行者にも優しい道路になりました。



浄水場内にて浄化処理工程の説明

佐呂間浄水場

昭和54年に建設された浄水場の外観は古く見えますが、内部の機器類は計画的に更新されており、供用開始から40年以上経過した現在でも、安全安心な飲み水を作り出し、供給しています。
 今年度においては、ボイラー用の灯油を貯める地下埋蔵タンクの老朽化に伴い、地下タンクを廃止して新たに屋外タンクを設置する改修工事を実施しました。



きれいに補修・塗装された木柵

道の駅物産館みのり

物産館裏の畑との間に設置されている木柵及び階段において、老朽化による傾き・ぐらつき、腐食部分の進行が著しいことから、今年度に補修工事と合わせて全面的に再塗装を実施し、遠目には新設されたような仕上がりました。
 コロナ禍にあって観光業は昨年度から非常に厳しい状況が続いていますが、たくさんのお客様に訪れていただけることを期待しています。



議員の顔写真に替えて 似顔絵イラストを掲載します！



三田 真美 議員



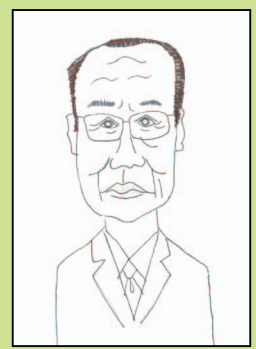
但木 早苗 議員



佐藤 昭男 議長



高橋 紀久 副議長

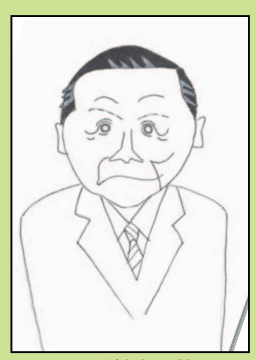


小松 正義 議員

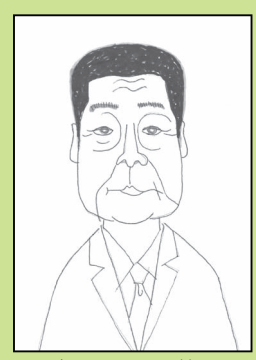
町民の皆さんに、議員により親しみを感じてもらうため、3年前から始めた似顔絵イラストの最新版です。今号から掲載します。特徴をよく捉えたイラストとなっています。



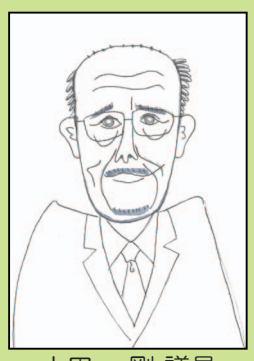
山内 一弘 議員



面 栄次 議員



渡辺 一馬 議員



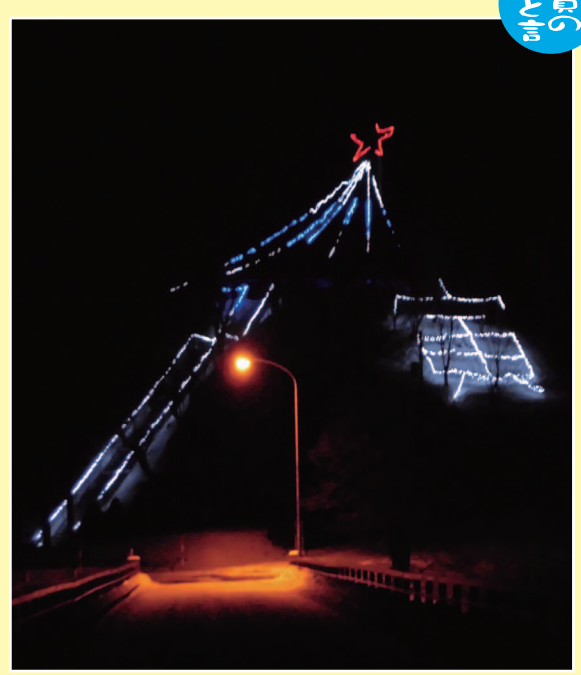
土田 剛 議員

No. 129

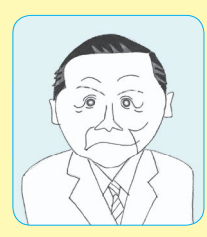
令和4年2月発行



若佐神社のイルミネーションも牛から寅に変わりました。イルミネーション点灯の始まりは、今は使用されていないルクシントネルが国道333号線に開通した当時、「若佐のために333個の豆電球を暗い大空に」と地元の方への声かけがきっかけで、現在は私が引き継ぎ、ふるさと創生資金補助等を活用したLED電灯への更新や、干支の電飾は、農業青年部が知恵を絞って施工するなど、継続して来しました。



ました。しかし、こんな時だからこそ踏ん張って、街の灯りを消してはいけないと思います。現在に至っています。峠を降りて来たら、山の腹に明かりが灯る、人の温かさ住みやすい街がいつまでも続きますように。



面 栄次

編	集
議 会 特 別 委 員	報 告 委 員 会
委 員	委 員 長
員	副 委 員 長
面 栄 次	高 橋 紀 久
	土 田 剛
	山 内 一 弘
	渡 辺 一 馬

発行 佐呂間町議会
〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地の1
01587-2-1291 FAX 2-3368 (役場兼)